



1992年に宮崎県西都市で開校し32年、小学生から高校生までの生徒をたった一人で指導に当たるのはタカセ学習室の高瀬正敏代表だ。当初は小学6年生に中学の準備英語を指導する塾だったが、保護者や生徒からの要望を受け徐々に対象を拡大し今に至る。

それを可能にしたのは2007年に導入した映像教材のウイングネットだ。長年ウイングネットを活用してきた塾から見たウイングネットの魅力とは何か？高瀬代表に話を伺った。



高瀬 正敏 代表

宮崎県西都市

# タカセ学習室

## 個別最適化！誰一人取りこぼさない どんな生徒にも最適な学習環境を 提供できているのは ウイングネットだからこそ

タカセ学習室 高瀬正敏 代表

復習を重視し、ノートの書き方から指導

小学6年生に中学の準備英語を指導する塾としてスタートしました。その後指導していた小学生が中学生になってからも継続を希望したため、中学生コースを開設、同様の流れで高校生コースも開設することになりました。

小中学生だけだった頃は私が指導していましたが、高校生の指導までは難しく悩みを抱えていたところに紹介していただいたのがウイングネットです。当時はウイングネットも外部に向けて販売を始めたばかり。映像教材自体、まだ世の中に浸透していない時期でしたが、説明を聞いてすぐに導入を決めました。

当塾では復習をとても重視しており、入塾した生徒にはまず勉強の仕方、ノートの書き方、作り方を教えています。勉強したときは分かった気になっても意外とすぐ忘れてしまうもの。あとで振り返った時に

行けず少人数クラスで教えてもらっていたり、服薬したりしている子がいます。学校の学習ペースではなく、ずっとと前の単元や学年を遡った授業、レベルに合わせた授業が受けられるのはウイングネットの魅力の一つです。授業のスピードについて行けなかったら止めて戻ることができず、理解できるまで何度も繰り返し見ることができず。そういうご家庭では体験の段階でも両親揃って来られるケースもあり、家庭でも話をしたうえで、体験後に「帰宅してから子どもが『間違えても叱られなかった』と嬉しそうに話してくれました」と知らせていただいたことがあります。

周囲とペースが違うというだけで多くの子どもたちが承認してもらえず、褒めてもらえずにいます。自分のペース、自分の主体性を認めてもらえる場所が必要で、当塾がその役割を担っているのはやはりウイングネットのおかげだと思います。

ウイングネットでは個別最適化を重視しており、勉強が大好きな子どもから苦手な子どもまで、成績上位層から下位層まで、どんな生徒にも最適な環境を整え、一人ひとりに合った講座を作れると謳っています。これは「豊富な講座数を有しており、講座のレベルを合わせられるから最適化できるのだ」というだけの話ではありません。個々

オンライン父母会



自分がどこで間違え、どこが理解できなかったのか、日付と間違った問題の間違った箇所を印をつけることを習慣化させます。ノートを見たら分かるようにきちんと記録しておくのです。勉強が苦手な子はそもそもノートがきちんと書けていません。復習に適したノートの書き方を身につけると、自分で学習する

数学・英語の問題を解くのに必要な基本の知識をメモ



のペースに合わせて、何度でも同じ授業を受講できる、ゆっくり受講できる、単元を戻って受講できる、そんなところも含めての最適化であると思います。

### ビデオ通話機能を使ったオンライン勉強会

カリキュラムは学校の進度をベースに苦手箇所の復習などを加え組んでいきます。大学の推薦入試を受ける生徒には小論文添削や面接指導も入れ、その時々で生徒に合わせた対策をしています。分からないことや悩むようなことがあればウイングネットの担当の方に連絡をします。一緒に対策を考えてくださるのがとても助かっています。

塾に通えず、自宅でウイングネットを受講している生徒もいますが、家だとやる気が出ない生徒も多いので、ビデオ通話機能を使った「オンライン勉強会」を始めました。勉強会といっても生徒はそれぞれの学習をするの「画面の向こう側」一緒に勉強している感じが「いる」という状況が生徒をやる気にさせてくれます。最近では地元の中学校が宿題を出さなくなってきたので保護者から「塾で宿題を出してほしい」という要望がありました。宿題代わりに復習をするよう提案したところ、オンライ

講座レベルを合わせるだけが個別最適化じゃない自分のペースで学習できることの重要性

近年、様々な特性を持つ子が増えている印象があります。当塾にも学校の授業についていない生徒もいます。塾を始めた時は22歳だったこともあり「子どもとお兄さん」という感覚で接していました。それから年を経て、お父さんの感覚に変わりました。今思うと、その時が子どもたちに対して一番厳しかったかもしれない。今はお兄ちゃん感覚ですね。ゆったりと見てあげられます。ウイングネットを導入し、教えることを手放したことで生徒たちと触れ合う時間が増えたこともあるでしょう。

また、詰め込み型から個性を伸ばすことを重視することにシフトするなど、勉強に対する世の中の考え方が変わってきたことも影響しています。学び方が変わるとそれに合わせて塾も変わらなければなりません。子どもたちにとってこの塾が居心地の良い場所になってほしいと思っています。各ご家庭と連携を取りながら、ご家庭と共に子どもたちを育てていけたらと思います。

